

「雇用」、「産業」、「暮らし」、「集い」、「長寿」、「行政改革」の七つの項目を実行するにあたり、先の臨時国会において「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、地方創生に向け、国全体で積極的に取り組むこととなります。

この法律は少子化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、首都圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的としており、国で定める総合戦略に呼応して地方版総合戦略を策定した意欲ある地方自治体には、国において人的・金銭的面においても支援するとなっており。

私はこれを起死回生のチャンスと捉え、佐井村においても新年早々に「佐井村まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を立ち上げ、持続可能な村づくりのための総合戦略を策定し、地域の皆さまからのご意見やアイデアの提案を受けながら、地域住民一人ひとりが夢と希望の持てる潤いのある豊かな生活を営める佐井村スタイルの地域社会の形成に努めて行きます。

佐井村には言うまでもなく、多くの素晴らしい地域資源があります。私たちはこれらの人や農林水産資源及び景観などを含む地域資源を守り育て、次の世代に残していくという責務があると同時に、本村の魅力を改めて見つめ直し、それに気付き、その価値を共有しなければなりません。そして、自らの地域に誇りと愛を持ち、村内外にその魅力を発信し、交流人口の増加による地域経済の発展を推進していく必要があります。その為の政策の一つとして、私は、新年度、NPO法人「日本で最も美しい村」連合の加盟申請に向けた取り組みを展開して参ります。この「日本で最も美しい村」連合は、小さくても輝くオンリーワンを持つ農

山漁村が、自らの町や村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるのをサポートすることを目的として、平成十七年十月に七つの自治体が集まって発足し、現在、四十七町村七地域が加盟しており、青森県では未だ加盟自治体がありませんが、県内の町村に先駆けて加盟に向けて取り組みをスタートしたいと思っておりますので、村民の皆さまのご協力をお願い致します。

また、本村には忘れてはならない偉大な先人、三上剛太郎先生の存在があります。本村の名誉村民である三上剛太郎先生の仁愛と博愛の精神を活かした「赤十字の里づくり」は既に皆さま、ご承知のとおりであります。剛太郎先生は、平成三十一年には生誕百五十年、没後五十五年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、赤十字標語の募集や掲示、生誕祭の開催に向けた取り組みをはじめ、村民が身近に感じられるような赤十字の里づくりを展開していきたいと考えております。本年度の干支は「羊」です。群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しているといえます。群れをなす羊は、行政・議会・地域住民が一体となるということであり、家族の安泰とは、佐井村全体の安泰であり、いつまでも村民の誰もが安心・安全に暮らせる村づくりに努め、「小さくてもキラリと光る村」をめざし、新たな村政づくりに邁進していく所存であります。

今後とも、佐井村が誇る村民力を大きな力として、将来に希望と誇りが持てるむらづくりの皆さまの先頭に立って取り組んで参りますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が活力に溢れ、村民の皆さまの笑顔が輝く素晴らしい年になりますよう心から祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。